

バイオマスプラスチック製植木ポットの普及啓発活動

〔そうさバイオマスプラスチック栽培組合〕

バイオマスプラスチックは、とうもろこしなどの植物から作られたプラスチックで、微生物によって水と二酸化炭素に分解されることから、環境にやさしい素材であると言われており、これを使うことにより、地球温暖化の防止や、循環型社会の形成などの効果が期待できます。

○ 取組の概要

- ・ 全国有数の植木産地である県内の植木生産者で構成されている「そうさバイオマスプラスチック栽培組合」は現在、バイオマスプラスチック製の植木ポットを利用した植木栽培に取り組んでいます。
- ・ バイオマスプラスチック製の植木ポットは、土壌中で分解するため、定植時にポットを外す必要がなく、使用済みポットの処理が必要ないという利点があります。（石油系プラスチック製の植木ポットは、使用したポットの処理が問題となっていました。）
- ・ 環境にやさしい植木の栽培方法として、農林水産業や環境関連イベント等でPRすることにより、バイオマスプラスチック製ポットの普及啓発を図ります。
- ・ 今後、様々な樹種でバイオプラスチック製ポットの利用方法を検討していきます。
- ・ 平成16年度より農林水産省「バイオマス利活用フロンティア推進事業」を実施しています。

